

表 5.3-14 に漂着したボトルから得られた情報を整理した。図 5.3-21 には各漂流事例の漂着位置と漂着位置近傍での漂流経路を示した。

鈴鹿川河口にて放流した発信機付漂流ボトル3本は、何れも放流後2時間で河口より約500m南下した岩礁域に漂着した。

答志島には合計で6本の発信機付漂流ボトルが漂着した。6本の放流河川別の内訳は、中の川が2本、安濃川が2本、宮川が2本であった。

その他に、坂手島において宮川で放流した発信機付漂流ボトルが1本漂着した。

表 5.3-14 発信機付漂流ボトルの漂着事例 一覧

| 事例番号 | 放流河川名 | 漂着推定時刻 | 漂着場所 | 漂着位置緯度 | 漂着位置経度 | 漂流時間(時:分) | 漂流距離(km:積分値) |
|------|-------|----------------|-------|------------|-------------|-----------|--------------|
| 1 | 鈴鹿川 | 1月7日 10:00 | 鈴鹿川河口 | 34-55-37.0 | 136-38-46.0 | 02:00 | 0.5 |
| 2 | 鈴鹿川 | 1月7日 10:00 | 鈴鹿川河口 | 34-55-36.8 | 136-38-45.0 | 02:00 | 0.6 |
| 3 | 鈴鹿川 | 1月7日 10:00 | 鈴鹿川河口 | 34-55-36.6 | 136-38-42.0 | 02:00 | 0.7 |
| 4 | 宮川 | 1月8日 03:30 | 答志島 | 34-31-04.6 | 136-52-12.0 | 17:15 | 18.5 |
| 5 | 宮川 | 1月8日 11:40 | 坂手島 | 34-29-24 | 136-51-50.0 | 25:25 | 22.7 |
| 6 | 宮川 | 1月8日 12:30 | 答志島 | 34-31-04.4 | 136-52-13.0 | 26:15 | 18.7 |
| 7 | 安濃川 | 1月9日 17:00 | 答志島 | 34-32-19.8 | 136-54-01.0 | 58:00 | 48.6 |
| 8 | 中の川 | 1月9日 23:30 | 答志島 | 34-31-57.6 | 136-53-13.0 | 62:15 | 51.7 |
| 9 | 安濃川 | 1月9日 23:30 | 答志島 | 34-32-12.8 | 136-53-44.0 | 64:00 | 49.4 |
| 10 | 中の川 | 1月10日 04:00 | 答志島 | 34-32-18.4 | 136-53-45.0 | 66:45 | 56.2 |

図 5.3-22～図 5.3-27 には放流当日の1月7日から1月12日までの各ボトルの漂流経路を示した。

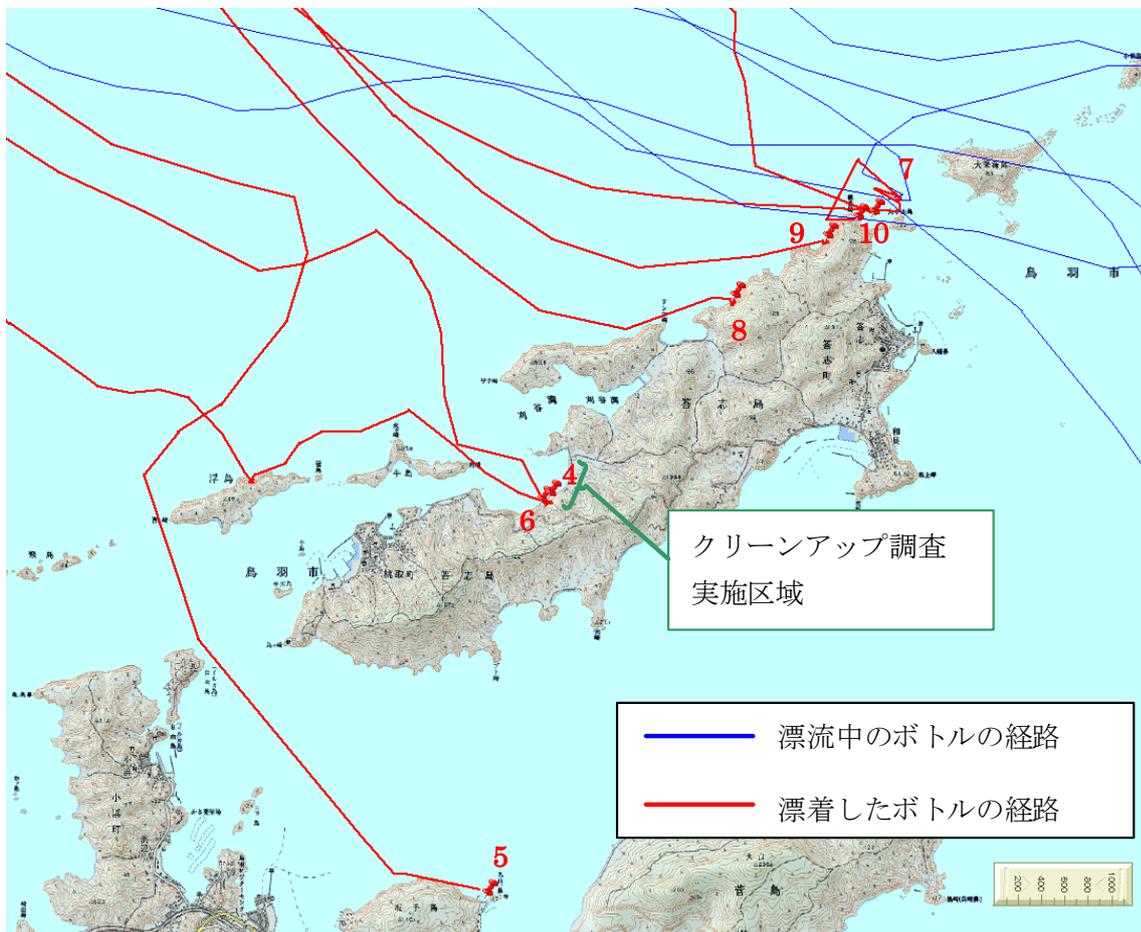


図 5.3-21 発信機付漂流ボトルの漂着位置と漂着位置近傍での漂流経路
 (図中の数字は表 5.3-14 中の事例番号を示す)

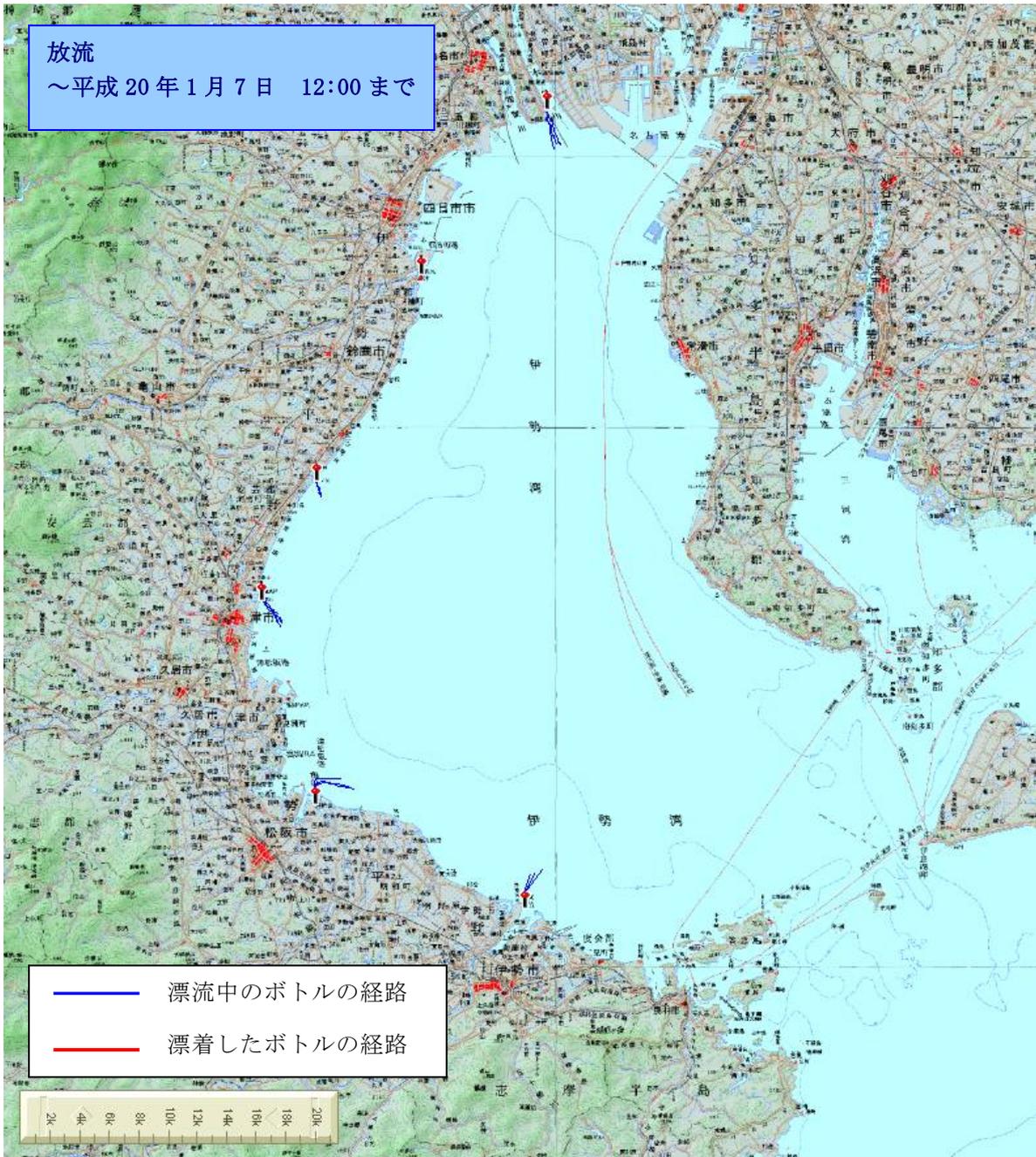


図 5.3-22 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
 (放流直後～平成20年1月7日12:00までの経路)



図 5.3-23 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
(放流直後~平成 20年 1月 8日 12:00 までの経路)

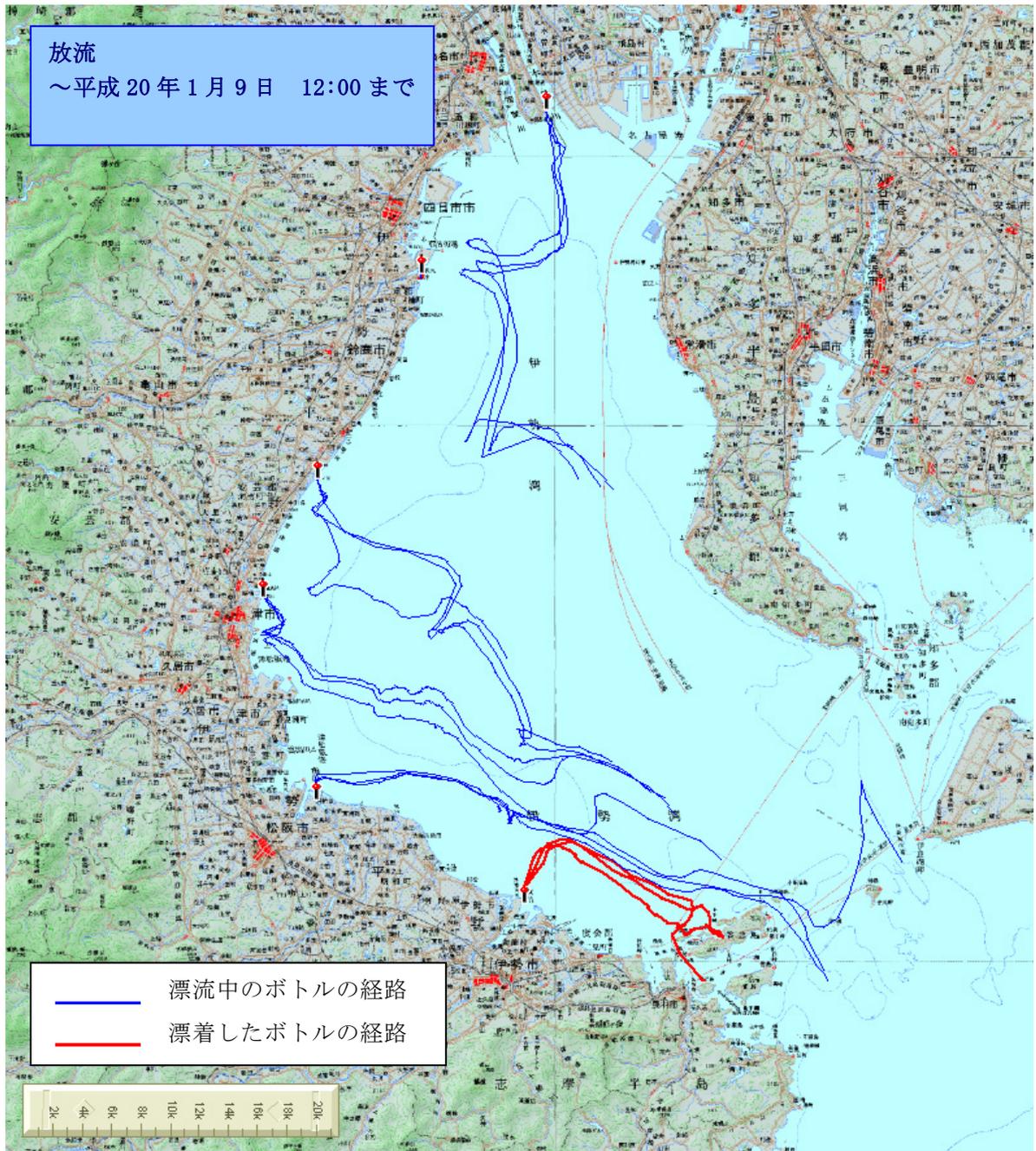


図 5.3-24 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
(放流直後~平成 20年 1月 9日 12:00 までの経路)

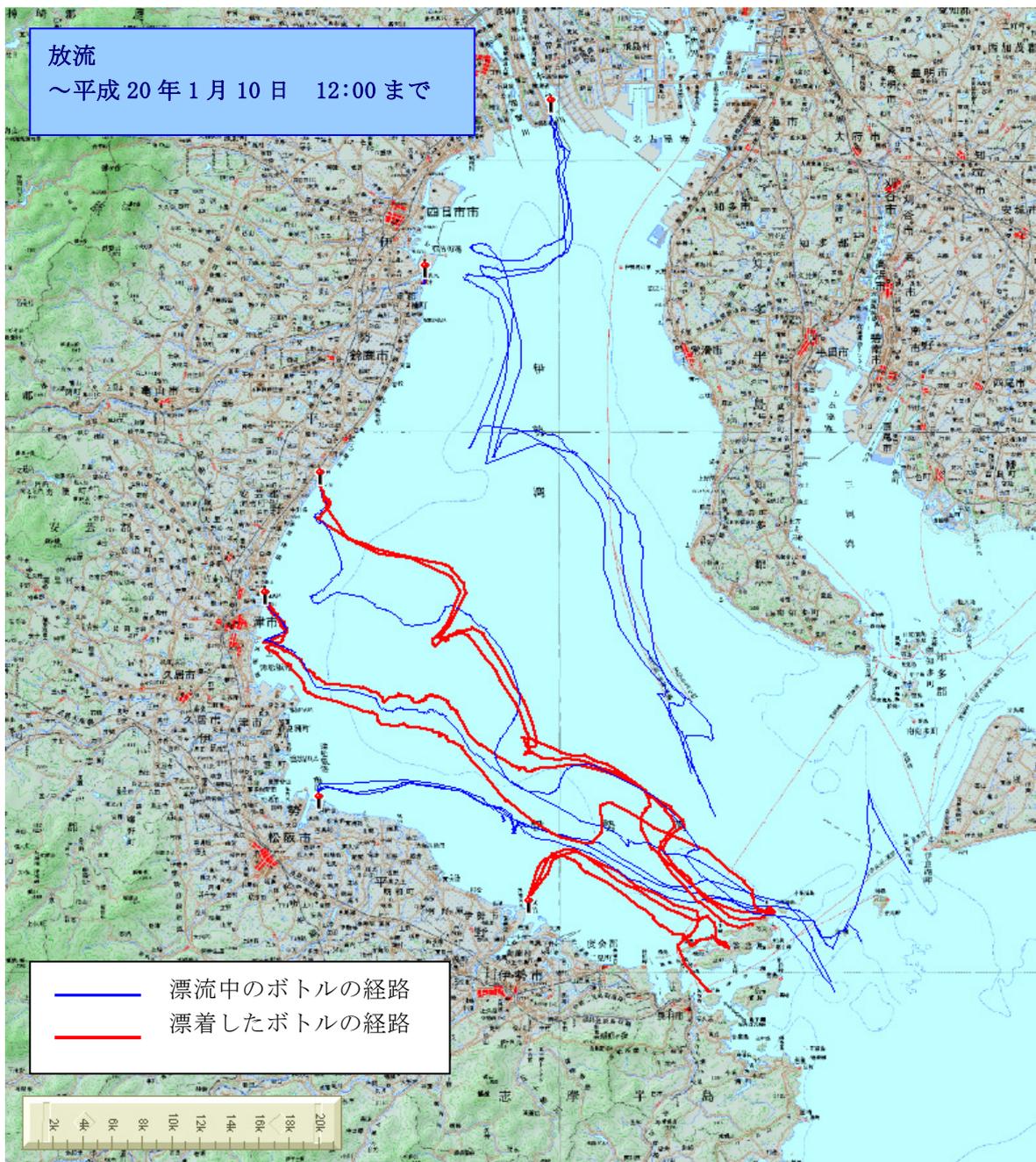


図 5.3-25 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
 (放流直後～平成 20 年 1 月 10 日 12:00 までの経路)

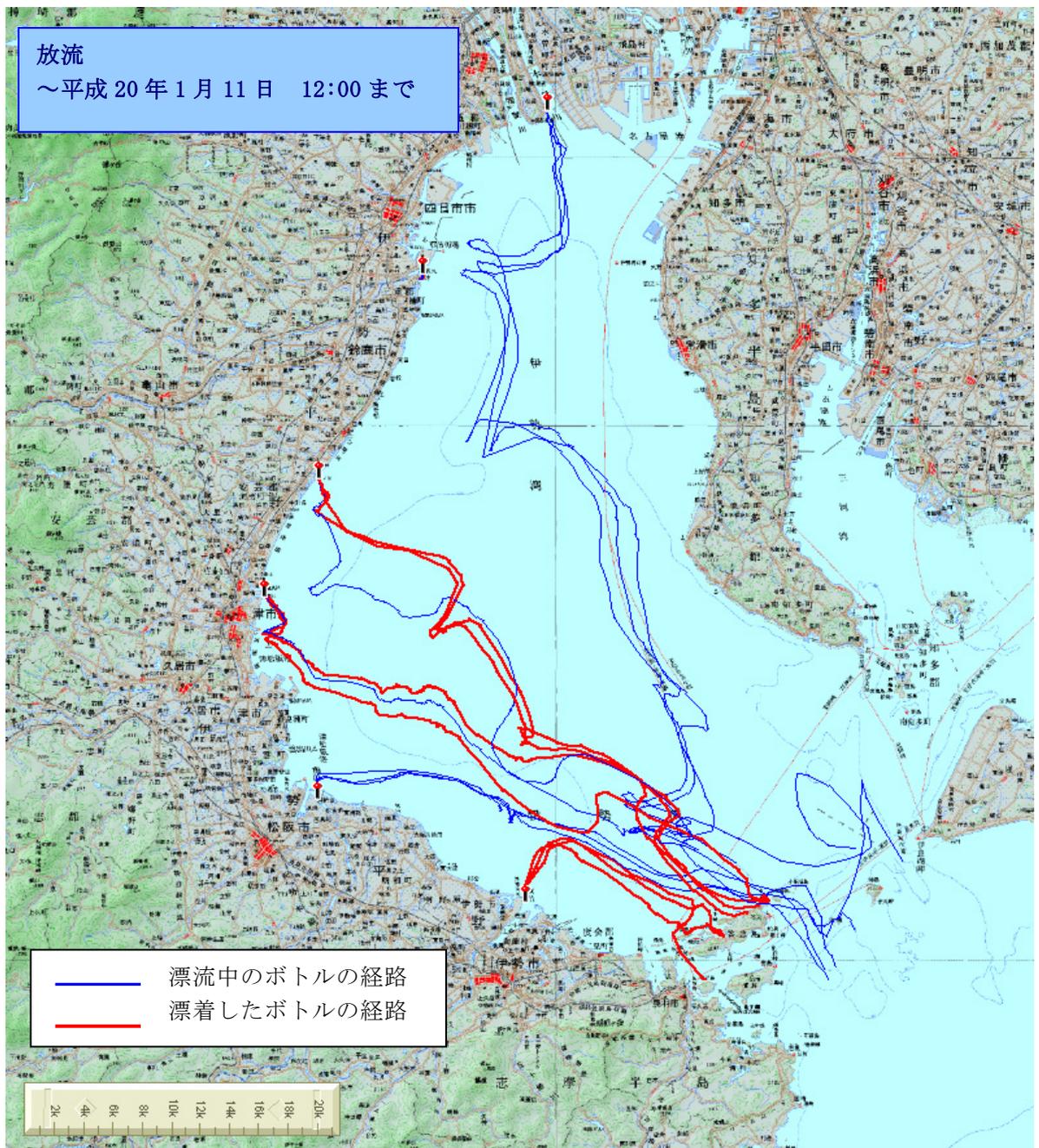


図 5.3-26 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
(放流直後~平成 20年 1月 11日 12:00 までの経路)

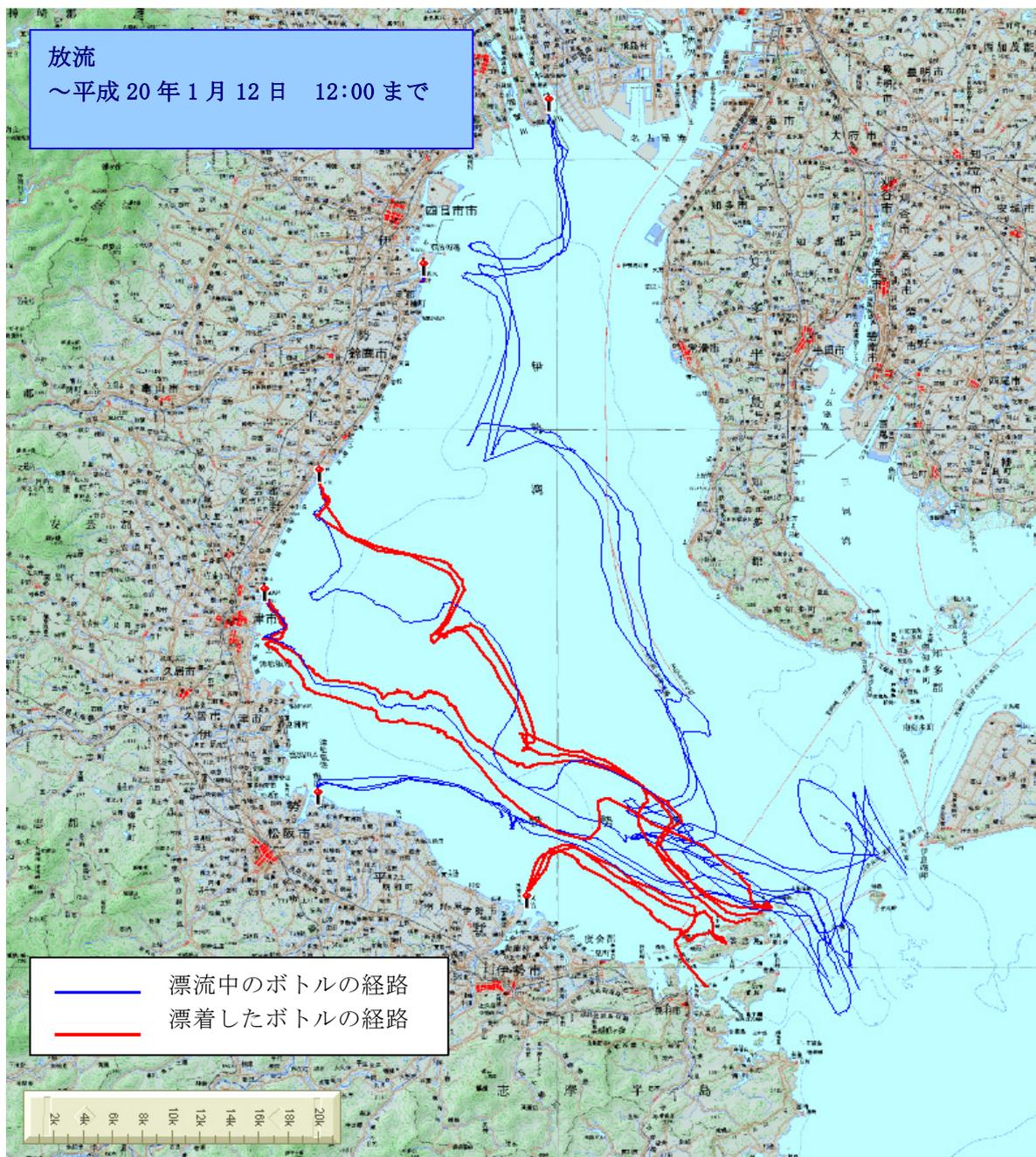


図 5.3-27 発信機付漂流ボトルの漂流・漂着経路
(放流直後~平成 20 年 1 月 12 日 12:00 までの経路)